

山口県 彩都

山口がもっと好きになる情報誌

Sight
Yamaguchi

Vol.

17

2025

巻頭特集

「おさらい山口」

歴史と文化、最先端が
共存するまち、山口市。



巻頭特集「おさらい山口」

歴史と文化、最先端が
共存するまち、山口市。

- [マンガ] 写真家モドさんが出会った山口市 — 2
山口市は“レコードのB面”のようなまち!
- 山口市にはディープな魅力が満載! — 5
モドさんが考える山口市の魅力とは!?
- おさらい山口① 大内氏と山口市 — 6
大内氏は都を山口に移したかった!?
- おさらい山口② 雪舟と山口市 — 8
雪舟は大内氏お抱えのスパイだった!?
- おさらい山口③ アートと山口市 — 9
アート大好き♡大内のお殿さま!
- おさらい山口④ 知が集結!「学都山口」 — 10
学都山口は上田鳳陽先生から始まった。
- おさらい山口⑤ 明治維新の策源地 — 11
「湯治に行く」と言い残し…。敬親、藩庁移転を強行突破!
- 山口市はまだまだスゴイ!! おさらい山口MAP — 12

特集2

次世代に伝えたい、つなぎたい
山口市の祭を知る。

- [マンガ] 山口祇園祭 — 14
- 山口天神祭 — 18
- 山口七夕ちょうちんまつり — 19
- 湯田温泉白狐まつり — 20
- 山口市に生まれた新しい文化 — 21
12月、山口市はクリスマス市になる。/ チョコフロールやまぐち!!

特集3

知っちょる?
湯田温泉は今からどんどん
にぎわうエリア! — 22

YAMAGUCHI CITY TIMES — 24

- NEWS 01 山口市役所の新本庁舎棟が開庁!
- NEWS 02 「地球の歩き方 山口市」が
令和7(2025)年10月に発刊!
- NEWS 03 湯田温泉に「こんこんパーク」が
オープンします!

レノファ山口 ホームゲーム情報

ふるさと納税のご案内

プレゼントクイズ

「彩都山口」のWeb版はコチラから。

<https://sight-yamaguchi.jp/>

彩都山口 🔍

巻頭特集「おさらい山口」

歴史と文化、最先端が 共存するまち、山口市。

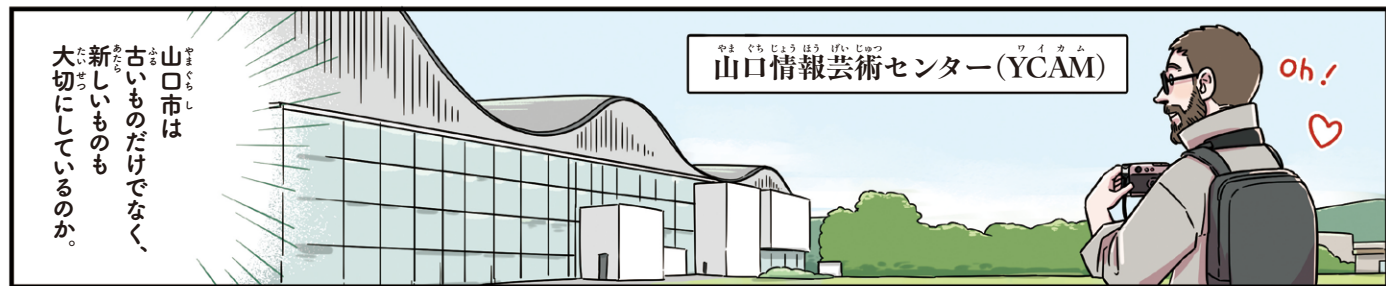
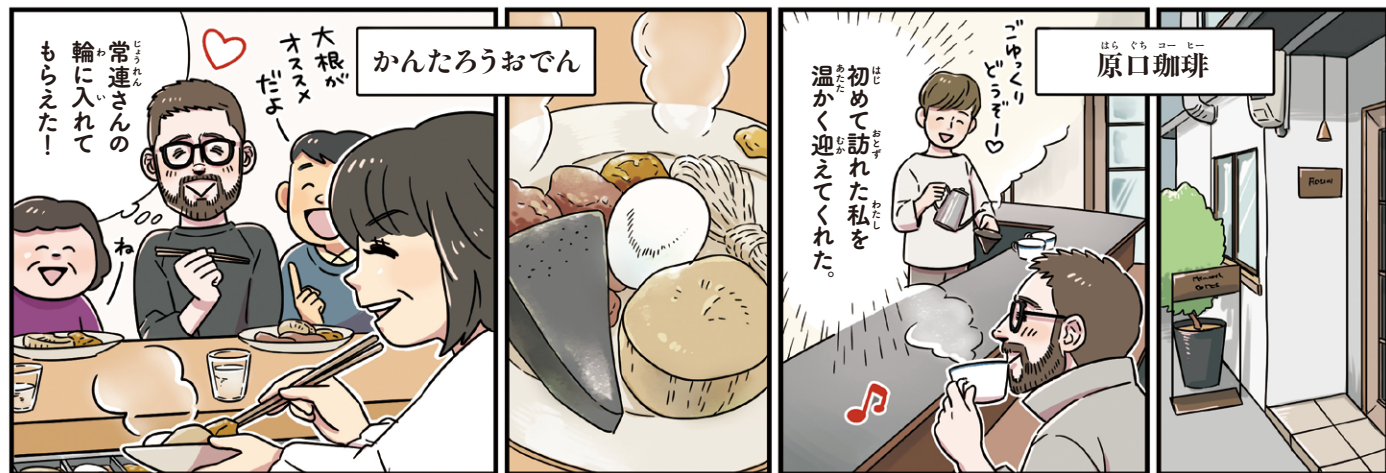
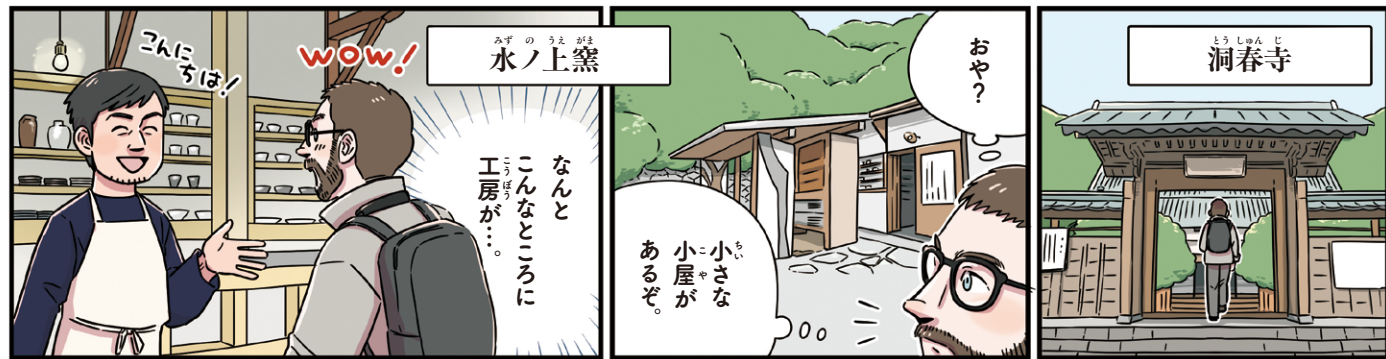
2024年1月、アメリカの日報「ニューヨークタイムズ」が発表する

「2024年に行くべき52カ所」に日本で唯一選ばれた山口市。

1年経った2025年の現在もなお、山口市は世界中から熱い視線を向けられています。

そこで、彩都山口17号では、巻頭特集「おさらい山口」にて山口市の魅力を改めて発信。

これを読めば山口市がもっともっと好きになるはず!



2024年1月、アメリカの日刊新聞紙「The New York Times (ニュー・ヨーク・タイムズ)」が発表した

「52 Places to Go in 2024 (2024年に行くべき52カ所)」に日本で唯一なん い しょ に ほん ゆい いつ やま ぐち し せん しゅつ山口市が選出!

推薦者のクレイグ・モドさんが考える山口市の魅力とは!?

1

しょう てん がい こ じん てん
商店街や個人店、
とく わか もの いとな
特に若者が営む
みせ げん き
お店が元気！

山口市は商店街や個人店が元
 気なまち。特に若者が営むお店が
 ものすごく元気で、まち全体が生
 き生きしています。温かいひと
 も多く、すぐに友人として受け入れて
 もらえました。

魅力はココ!

3

まちの至^{いた}るところで
歴史^{れきし}が感^{かん}じられる！

し せき が まちなかに てんざい しているのにびつく
 史跡がまちなかに点在しているのにびつく
 いち さかがわしゅうん むかし な の
 り! 一の坂川周辺には昔のまち並みが残り、
 いろんなところでも歴史を感じられます。
 はきおうかん ある とき ていねい
 萩往還を歩いた時は、ガイドさんに丁寧に
 説明してもらえました。

魅力はココ!

5

とう きょう きょう と ひろ しま
東京や京都、広島などが
レコードのA面ならば、
山口市はB面。
B面には隠れた名曲が多い！

やまぐち し せ かい し す ば
山口市はまだ世界に知らないない素晴
らしさ、混雑している観光地ではできな
い、日本の日常に触れられるまち、という意
味で「B面」と表現しました。今観光客が求
めている「オーセンティック(本質的)な経
験」が山口市ならできます!

なぜ山口市が選ばれたの!?

魅力みが満載まんざい！

ディープな

山口市には



魅力はココ!

2

気持ちよく
散歩ができる！

はきょうかん わかし みち
 萩往還のような昔の道はもち
 んですが、一の坂川沿い
 湯田温泉街などのまちな
 かのも散歩するのにぴっ
 たり。挨拶をしてくれるひと
 たくさんいて、温かい気持ち
 になります。

魅力はココ!

4

大自然との
向き合い方が
素晴らしい！

自然^{しぜん}を受け入れ、自然^{しぜん}に寄り添^もつてのんびりと暮^くらす人々^{ひとたち}がとても魅力的^{みんきょてき}。田舎^{いなか}と都会^{とかい}の中間^{ちゅうかん}領域^{りょうぎ}にある京^{きやう}口市^{くし}のような地方^{ちほう}都市^{とし}での暮^くらしは人生^{じんせい}の選^{せん}択^{たく}肢^しを豊^{ゆた}かにします。あるべきまちの姿^{すがた}の例^{れい}として、全^{ぜん}世界^{せいがい}が参^{さん}考^{こう}にすべきだと思^{おも}います。

山口市のみなさんへ

山口市は
とても良いまち
ということを信じて!

ずと^す住^ぼんでいるとその場所^{しよ}
 の良^よが^み見えづ^めらくなるもので
 すが、私^わが^し日本^に全^{ほん}国^{ぜん}を^く巡^{めぐ}った
 中^なでも山^{やま}口^{ぐち}市^しは本^{ほん}当^{とう}に特^{とく}別^{べつ}な
 まち。ぜい歴^{れき}史^しと文^{ぶん}化^かを次^じ世^せ
 代^{だい}につなげていってください!

やまぐちしちょう
モドさんと山口市長の
たいだんようす
対談の様子はこちら

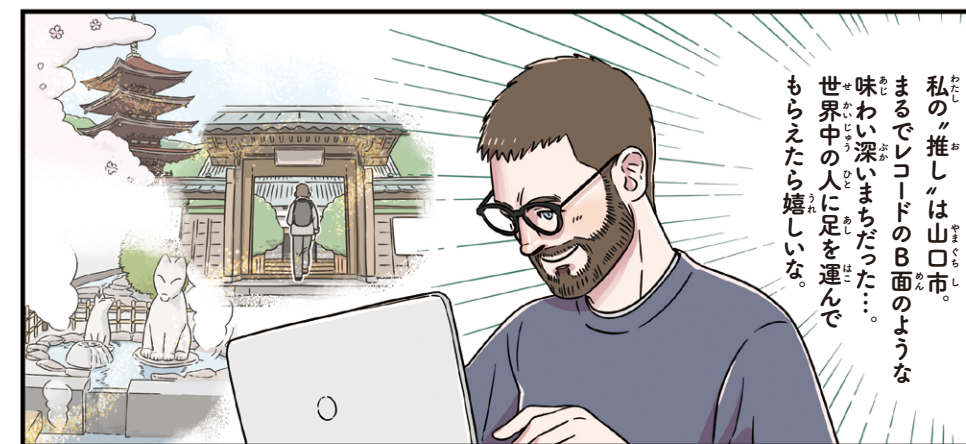
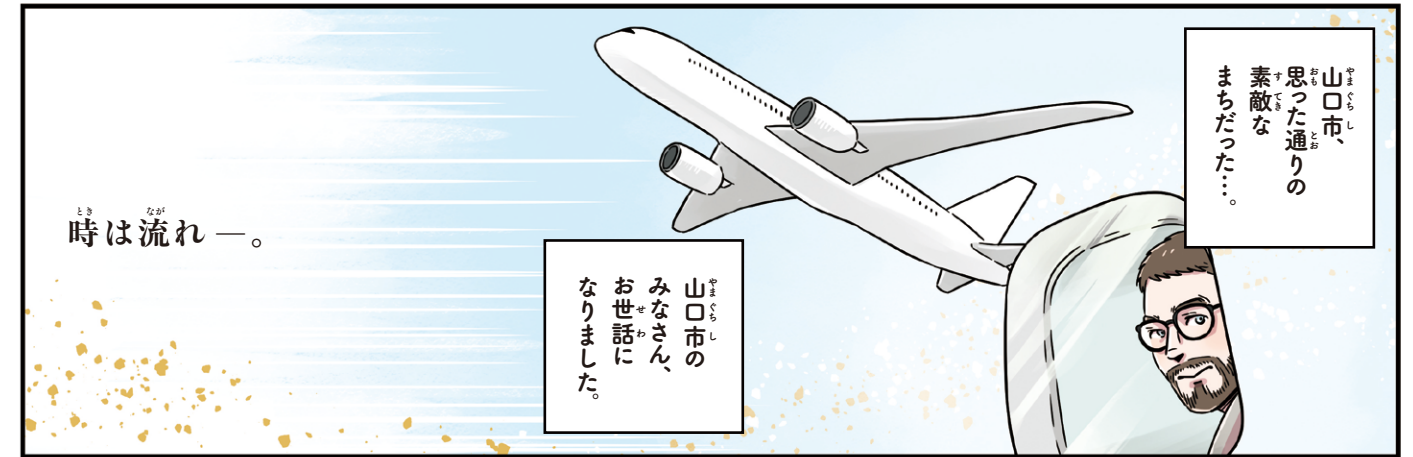
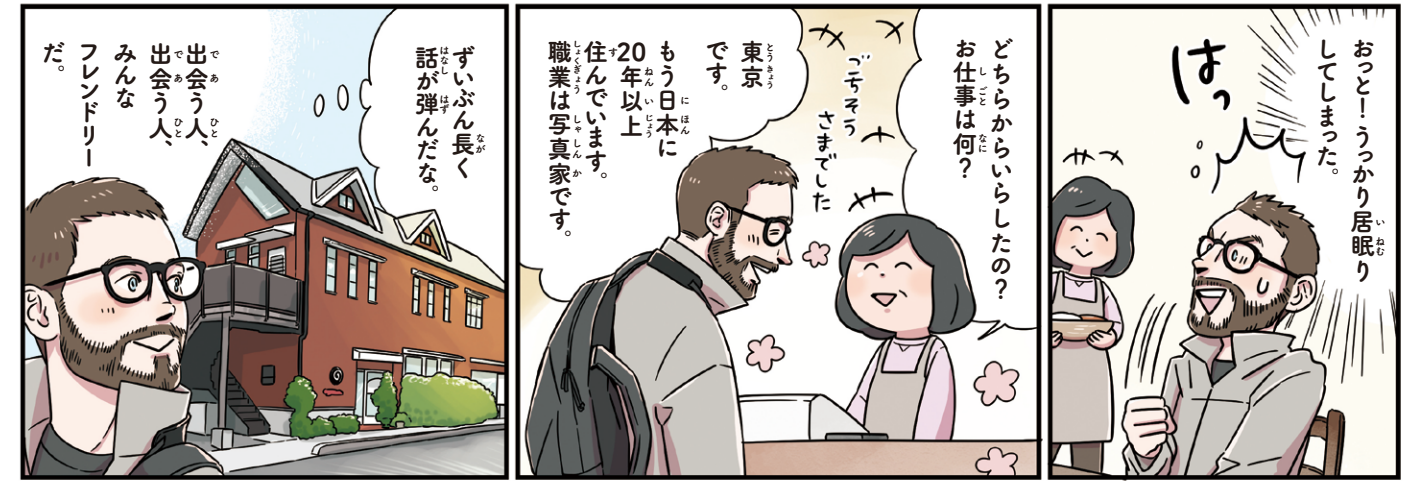
「2024^{ねん}年に行くべき52^{しよ}カ所」とは？

ニューヨーク・タイムズ編集部では、世界各国
 のライターの推薦をもとに、毎年1月にその年
 のおすすめの旅行先を52カ所選出し、誌面に
 発表します。2024年、山口市は、モドさんの推
 薦によってそのうちの1カ所に選ばれました！

A display case containing a framed photograph of a woman in a red dress standing in a field, with a sign above it that reads "13 FRAMES TO GO".

やまぐち し けいさい し
山口市が掲載されたニューヨーク・タイムズ紙

モドさん
Webサイト



雪舟は大内氏お抱えのスパイだった！

「明で絵を学びたい！」
雪舟の狙いは遣明船！

水墨画で知られる室町時代の画僧・雪舟は、応永27（1420）年に備中国赤浜に在の岡山県総社市で生まれ、幼少期に生地に近い禅寺・宝福寺に預けられました。その後、京都・相国寺で画僧・天章周文に絵を学び、山口市に移住。当時、山口市は全国でも京都に比べられるほどの文化都市で、大内氏は京から多くの文化人を招いており、雪舟もそのうちの一人だったというわけです。雪舟は大内氏より与えられた山口市天花の雲谷庵を居所兼アトリエとし、さまざまな絵を描きました。そして、応仁2（1467）年に大内氏の遣明船に乗り、中国（明）へ。雪舟は明に初めて渡った日本人画家となったのです。雪舟が山口市に移住した理由は、まさにこの遣明船でした。大内氏の遣明船に乗って明へ渡り、絵を学ぶことが雪舟の夢だったのです。文明元（1469）年に帰国した雪舟は、九州各地を転々とした後、再び山口市に戻って創作活動を続け、永正3（1506）年に雲谷庵にて87歳で亡くなったといわれています。

「画聖」と呼ばれた室町時代の水墨画家・雪舟が、制作活動に励んだ場所は山口市。京都では思うように活躍できなかった雪舟ですが、パトロンの大内氏がその才能を開花！雪舟は九州各地を転々としていたようですが…

室町時代の最高傑作！
雪舟が作ったと伝わる庭

さて、雪舟が九州各地を転々としていたのは、大内氏の命という説もあります。雪舟は絵を描いて歩きながら、実は諸国の情報を収集しては、大内氏に報告していたというのです。雪舟の画力を持てずれば、きつと正確に情報を伝えられていたはず…。雪舟もまた謎の多い人物です。



第28代 大内教弘



雲谷庵跡。明治時代に郷土史研究者・近藤清石により再建された

雪舟よ、情報を集めてまいれ…、
と言ったとか、
言わなかったとか。

山口市でも特に知られる雪舟ゆかりのスポットが「常栄寺」です。境内には第29代政弘が声をかけ、雪舟が作庭したと伝わる庭があります。室町時代の最高傑作といわれるその庭は、現在、国の史跡および名勝に指定されています。そして、常栄寺には、昭和を代表する作家・重森三玲が手がけた枯山水庭も！雪舟ゆかりのスポットとしてだけでなく、室町・昭和と2つの時代の名庭が楽しめるスポットとしても高い人気を誇っています。



雪舟と重森三玲の庭が
同時に楽しめるなんて
素晴らしい！



ありがとう、
大内氏！

常栄寺の庭



雪舟が作庭したと伝わる枯山水庭



重森三玲により作庭された「南溪庭」

【雪舟×山口市年表】		西暦	年齢
1420	1	備中国赤浜に生まれる	
不詳		10歳頃に宝福寺に入る	
不詳		京都五山の相国寺に入り、賓客を接待する知客を務めながら天章周文に絵を学ぶ	
1454	35	この頃に京都から周防国（山口）へ移る	
1465	46	雪舟と号を改める ※これ以前は「拙宗」号を使っていた	
1467	48	3月、大内氏の遣明船で中国へ	
1469	50	大内船に乗船し帰国。 帰国後は九州各地を転々とする	
1476	57	大分に天開図画楼を構え、画業に励む	
1478	59	この頃、山口へ帰る。 第29代政弘は手厚く迎える	
1486	67	12月、国宝にして雪舟の最高傑作といわれる「四季山水図」を描き、政弘に献上する	
1495		大内政弘没。義興が後を継ぐ	
1500	81	足利義満、義興を頼って山口に下る	
1506	87	山口市の雲谷庵で亡くなる ※同年の備中・重安寺没説、1502年の石見・東光寺没説もある	

アート大好き♡大内のお殿さま！

新しいもの、珍しいもの大好き！
大内氏は生粋のコレクター！

華やかなもの、面白いものに惹かれ、新しいものに対して寛容であった大内氏は、京の都や大陸から山口市にさまざまなものを取り入れ、さまざまな人を迎え入れました。そんな大内氏によって開花した大内文化は脈々と受け継がれ、現在の山口市の「アートのある風土」を形成。山口市に伝わる漆工芸「大内塗」もその一つで、京に憧れた大内氏が都から漆塗り職人を呼び寄せて漆器を作らせたのがその始まりといわれています。また、第31代大内義隆は自らの領地でキリスト教の布教を始めた太っ腹な人物でもあり、スペイン人宣教師フランシスコ・サビエルと親交を深め、西欧文化も積極的に取り入れました。サビエルによってもたらされたスペインと

の縁はその後も続き、昭和55（1980）年より、山口市はサビエルの故郷ナバラ州の州都バンブローナ市と姉妹都市提携を結んでいます。ちなみに、サビエルは日本に初めて眼鏡を持ち込み、義隆に献上。日本初のメガネ男子は大内義隆…!? ※諸説あり



第31代 大内義隆

私こそが
メガネ男子第1号!?
当時のファッション
リーダーじゃ！

山口市が全国・世界に誇るアートの拠点「YCAM」

山口市を代表するアートのスポットといえ、山口情報芸術センター（通称「YCAM」）。メディア・テクノロジーを用いた新しい表現を探索し続ける、先進的・個性的かつ親しみやすいアートセンターです。開館以来、YCAMでは数々の作品が誕生してきましたが、中でも知

られるのが、音楽家の坂本龍一が平成25（2013）年に制作・発表したサウンドインスタレーション作品「Forest Symphony」です。樹木が発する微弱な生体電位をもとに生成したサウンドを用いたインスタレーションで、初公開後、その形態を変えつつ国内外で多数展示され、高い評価を受け続けています。平成24（2012）年に登場した「コロガル公園シリーズ」も代表作の一つで、国内の芸術祭や商業施設などで派生バージョンが発表。山口市発のアートは全国に、世界に届いているのです。



山口市には
アートの宝庫が
充実していますね！

まちなかにあるアートスポット

山口市にある代表的なアートスポットをご紹介します！

【山口県立美術館】



山口県の文化・芸術発信の中心的役割を果たしている美術館。収蔵作品を紹介するコレクション展をはじめ、定期的に大規模な企画展を開催しています。

【中原中也記念館】



山口市が誇る近代詩人・中原中也の記念館。中也の詩集や生涯を辿ることができる常設展示のほか、年に数回企画展も実施。多彩なイベントも魅力です。

【クリエイティブスペース 赤れんが】



旧山口市立山口図書館の書庫を改装した公共の文化施設。文化・芸術活動の発表の場として、展覧会や音楽会、演劇公演などが行われています。

わしらが築いた
大内文化こそが
山口市の
アートの礎！



大内氏あつての
雪舟じゃ！えへん！
彩都山口12号に
もっと詳しく
載って
おるぞ。



4

知が集結！「学都山口」

学都山口は上田鳳陽先生から始まった。

大内氏の学びの精神が学都山口の始まり

大内氏の滅亡後、山口市は毛利氏の時代へと移行されます。毛利氏は明治時代の廃藩置県まで萩市に藩庁を置いたため、城下町の萩市と海上交通の要衝として栄えた防府三田尻には学校がありましたが、山口市には武芸の稽古場や寺子屋、家塾（私塾）がある程度で、本格的な学校は存在しませんでした。そんな状況を見て立ち上がったのが山口市出身の長州藩士・上田鳳陽です。儒学者でもあった山口市には学校があつて然るべきと、山口市内の富商や豪農に学校新設を



山口大学創基の地（山口講堂跡）
現在は坂川交通交流広場

説いて回って資金を募り、萩藩に校舎建築をお願いして、さらに書籍の収集に奔走しました。時の藩主・毛利斉親は鳳陽の志に感じ入り、藩有林から建築用材を切り出すことを許可し、資金も援助。文化10（1813）年、鳳陽は念願の学校「山口講堂」を設立しました。この山口講堂が教育の礎となり、山口市は再び学都としてよみがえったのです。ちなみに山口講堂は嘉永2（1849）年に山口講習堂と改称され、その後、山口明倫館や山口中学校を経て、山口大学経済学部へと受け継がれました。

たくさんのかつかけがまちにあふれる山口市

現在の山口市には、文化や芸術、社会教育にふられる施設が充実。一歩まちに繰り出せば、多彩なジャンルのいろんな情報が入手することが可能です。「見たい！知りたい！聞きたい！」という大内氏の好奇心や学びの精神は、今もこうして山口市に息づいています。



文化・芸術・社会教育施設

まちなかにある



山口県立美術館

収蔵作品を紹介するコレクション展をはじめ、定期的な大規模な企画展を開催。山口県の文化・芸術発信の中心的役割を果たしています。



山口県埋蔵文化財センター

山口県の遺跡の発掘調査で出土した主要な遺物を展示。出土品から山口県の歴史や文化が学べます。



山口県立山口図書館

明治36（1903）年に開館し、80万冊以上を所蔵。ふるさと山口文学ギャラリーや明治維新資料室、こどもとしようしつなどがあります。



山口県文書館

毛利家文庫など藩政文書、諸家文書、山口県の行政文書、リーフレットやポスターなど行政資料、特設文庫といった歴史的・文化的価値があるとされる資料が閲覧できます。



いろんな職業や未来を知るチャンスがいっぱいですね！

5

明治維新の策源地

「湯治に行く」と言い残し……。敬親、藩庁移転を強行突破！

明治維新に火をつけた山口市への藩庁移転

官軍を象徴する「錦の御旗」を山口市の養蚕施設で秘密裏に製作

大内氏から毛利氏へと政権が動いても、「学び」へのあくなき追求が続いた長州藩は、有能な人材を続々と育成。毛利敬親が萩市から山口市へと藩庁を強引に移すと、他藩からも志の高い藩士が集うように。そうして山口市は明治維新の策源地となったのです。

山口市にゆかりのある維新の志士

山口幕末維新年表

大内氏の滅亡後、山口のお殿さまは毛利氏に。毛利敬親が長州藩主を務めていた江戸時代末期、日本はイギリスやフランスなど列強から開国を迫られ、次第に開国派と攘夷派に分かれるように。当初、長州藩は攘夷派でしたが、四国艦隊との戦いを終えて、列強と対等に付き合うためには、幕府を倒して新しく国を築く必要があると方針を変え。敬親は「湯田温泉に湯治に行く」と言い残して山口市の御茶屋に入り、そのまま藩全土を指揮するに便利な山口市に藩庁を移したといひます。すると、敬親のもとには思いを同じくする志士たちが集うように。敬親は茶室・露山堂で重臣らと討幕の計画を練り、豪商・安部一家族の離れだった枕流亭では薩摩藩の西郷隆盛や小松帯刀と長州藩の木戸孝允らが薩長連合の密約を交わしました。こうして藩庁があつた山口市は、明治維新の策源地となつていったのです。



志士たちが討幕計画を練った枕流亭
国宝瑞光寺五重塔も立つ香山公園内にある



錦の御旗製作所跡

慶応4（1868）年、旧幕府軍と新政府軍が京都で衝突した「鳥羽・伏見の戦い」から始まった戊辰戦争は、最終的に新政府軍が勝利。これにより明治維新が本格化し、日本の近代化が加速しました。この戊辰戦争において、新政府軍が官軍であることの象徴として掲げたのが「錦の御旗」です。この「錦の御旗」ですが、実は長州藩とある養蚕施設の一室で製造されていきました。建物を竹垣で囲ったり、人の出入りを厳しく管理した上で極秘裏に進められたといひます。御旗そのものの現存は確認されていませんが、製造の際に残った生地は「錦旗余片額」として山口県立山口博物館に収蔵。また、製作所があつた場所には石碑と案内板が設置されています。

まさか山口市で討幕計画が練られていたなんて！



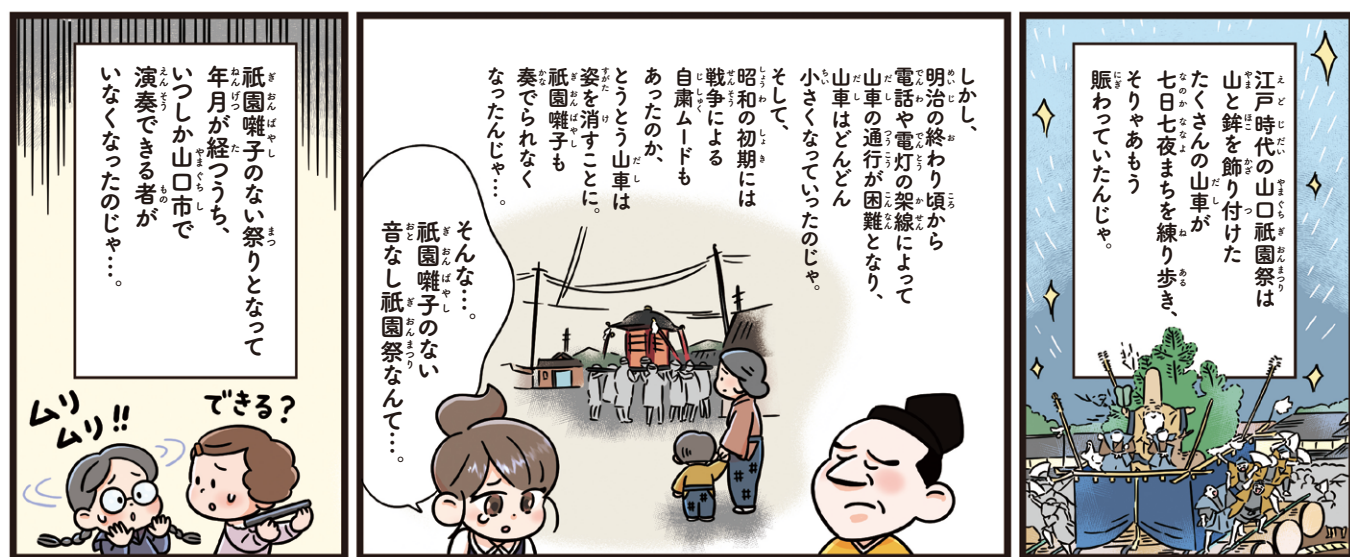
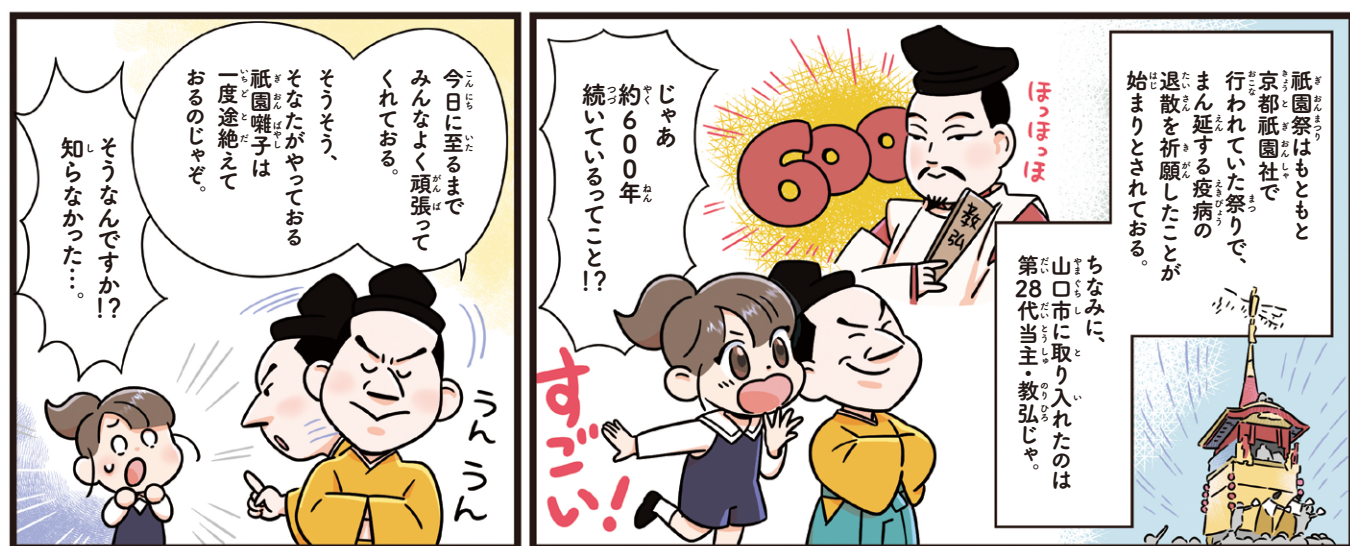
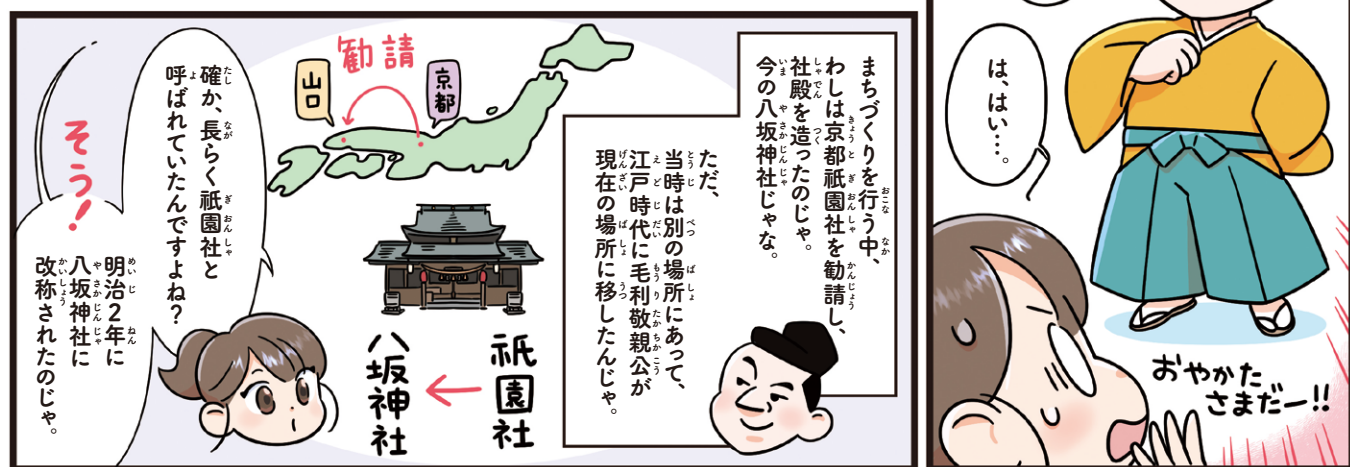
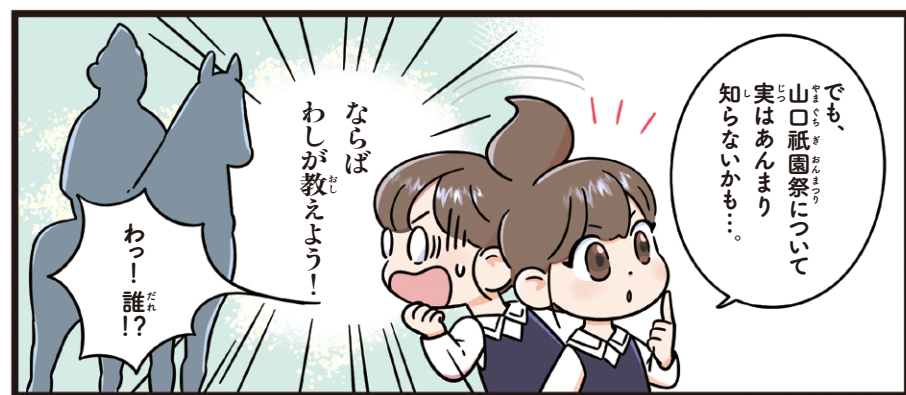
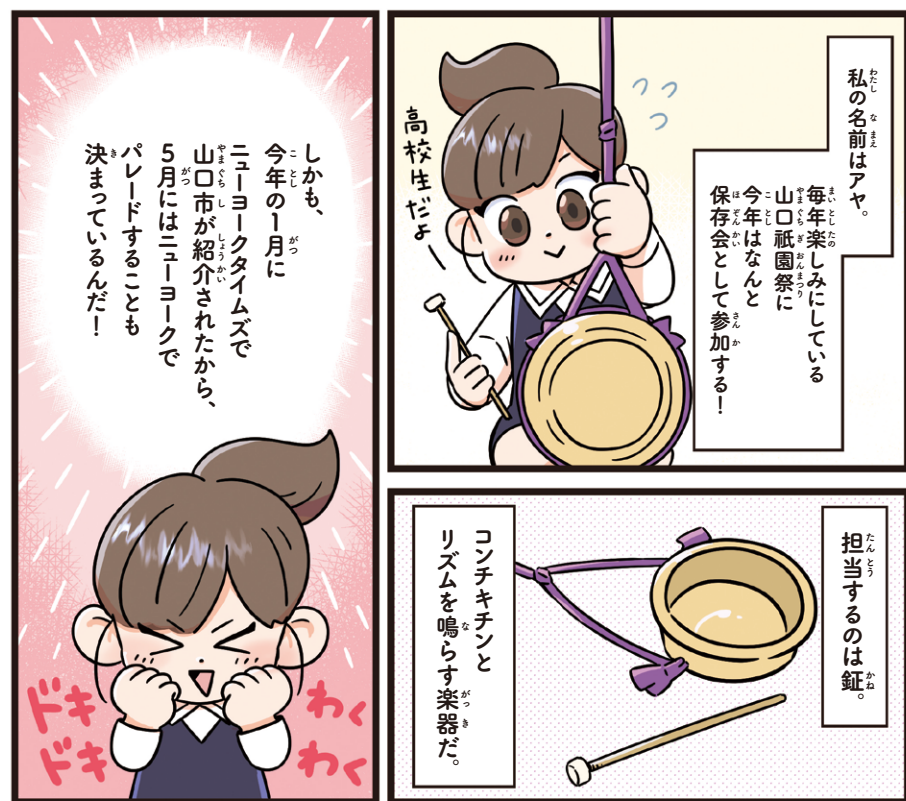
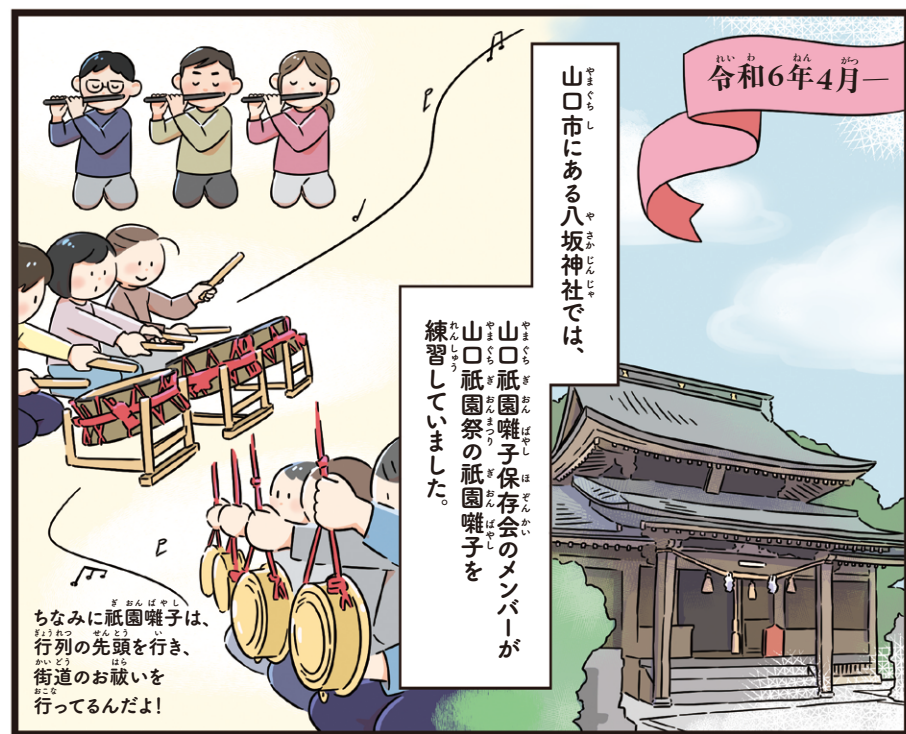
「まちなかに」
藩主・毛利敬親のあだ名は「そうせい公」
由来は「家臣の進言に『そうせい』とOKを出していたから。しかし、頼りない殿さまだったわけではありませんでした。器の大きい人物だったからこそ。有能な人材を登用し、若き才能を庇護するこの藩主なくしては、山口市は明治維新の策源地にならなかつたかも！」

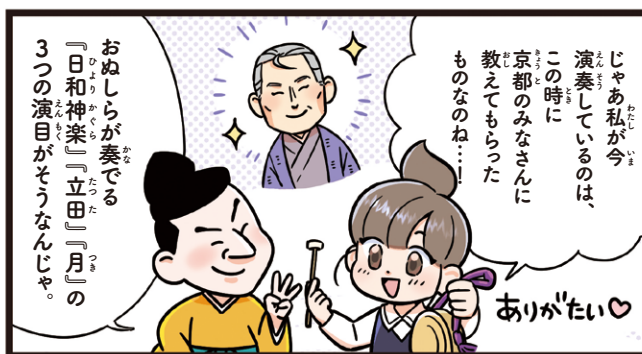
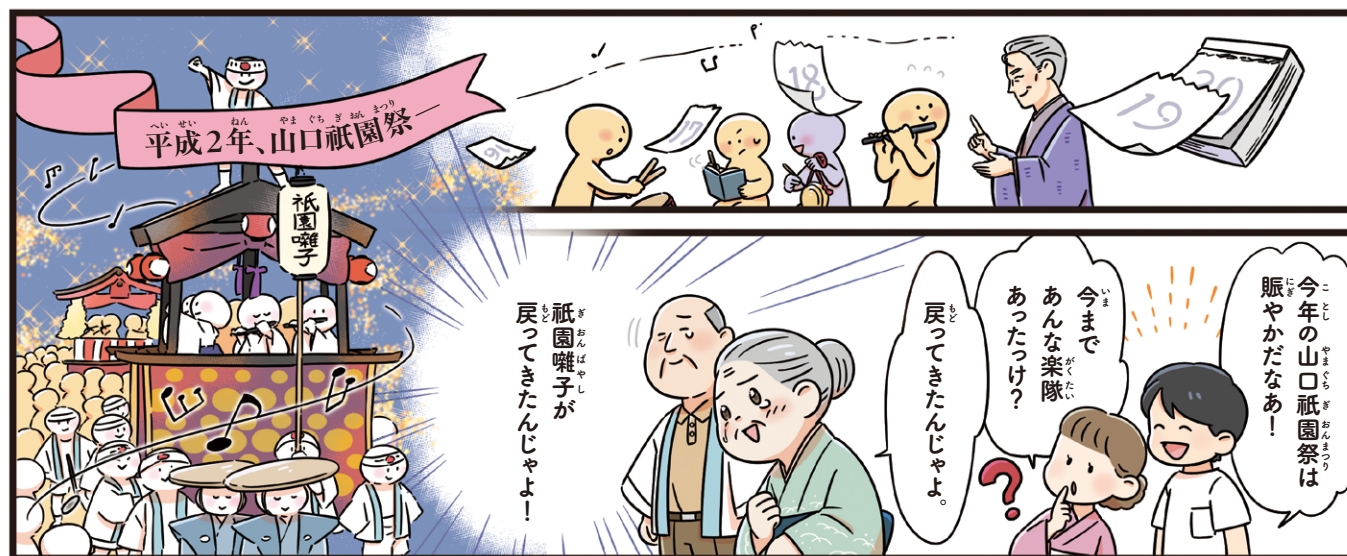
西暦	元号	年	月	山口市にゆかりのある維新の志士
1862	文久	2		毛利敬親、山口の地を踏査させる
1863	文久	3		高杉晋作、江戸の英国公使館を襲撃
1864	文久	4		敬親、萩を出て山口御茶屋へ入る
1865	文久	5		下関で攘夷戦が始まる
1866	文久	6		井上馨、長州ファイブ、英国に渡航
1867	文久	7		山口の中河原の御茶屋に山口藩政事堂を開設
1868	文久	8		下関が米、仏の軍艦による報復攻撃を受ける
1869	文久	9		高杉晋作が藩命により奇兵隊を創設
1870	文久	10		敬親、山口移転の告諭
1871	文久	11		8月18日の政変
1872	明治	1		三来実業七卿が長州藩へ下向（七卿藩政）
1873	明治	2		萩政事堂を廃止し、山口政事堂のみとする
1874	明治	3		山口新形形の建築工、10月落成
1875	明治	4		池田屋事件
1876	明治	5		上杉、伊藤博文が急遽英国より帰国し、十朋亭に起居
1877	明治	6		禁門の変（蛤門の変）、久坂玄瑞、自刃
1878	明治	7		第1次長州征伐の勅命下る
1879	明治	8		英米蘭仏の四国連合が下関を砲撃
1880	明治	9		井上馨、山口政事堂からの帰り道に襲撃される
1881	明治	10		俗論派の台頭、周布政之助自刃
1882	明治	11		敬親、萩城に帰る
1883	明治	12		幕府の使者、山口城の破却を確認
1884	明治	1		高杉晋作、功山寺参拝
1885	明治	2		敬親、藩主を一新、3月、武蔵禁裏を決定
1886	明治	3		薩長同盟締結
1887	明治	4		敬親、山口の新形形に移居
1888	明治	5		第2次長州征伐（四境戦争）開戦
1889	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1890	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1891	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1892	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1893	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1894	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1895	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1896	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1897	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1898	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1899	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1900	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1901	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1902	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1903	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1904	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1905	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1906	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1907	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1908	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1909	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1910	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1911	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1912	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1913	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1914	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1915	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1916	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1917	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1918	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1919	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1920	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1921	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1922	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1923	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1924	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1925	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1926	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1927	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1928	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1929	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1930	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1931	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1932	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1933	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1934	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1935	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1936	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1937	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1938	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1939	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1940	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1941	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1942	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1943	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1944	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1945	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1946	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1947	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1948	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1949	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1950	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1951	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1952	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1953	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1954	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1955	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1956	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1957	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1958	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1959	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1960	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1961	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1962	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1963	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1964	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1965	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1966	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1967	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1968	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1969	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1970	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1971	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1972	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1973	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1974	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1975	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1976	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1977	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1978	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1979	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1980	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1981	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1982	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1983	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1984	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1985	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1986	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1987	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1988	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1989	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1990	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1991	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1992	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1993	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1994	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1995	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1996	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1997	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1998	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
1999	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2000	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2001	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2002	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2003	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2004	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2005	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2006	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2007	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2008	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2009	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2010	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2011	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2012	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2013	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2014	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2015	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2016	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2017	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2018	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2019	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2020	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2021	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2022	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2023	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2024	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2025	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2026	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2027	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2028	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2029	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2030	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2031	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2032	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2033	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2034	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2035	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2036	明治	9		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2037	明治	10		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2038	明治	11		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2039	明治	12		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2040	明治	1		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2041	明治	2		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2042	明治	3		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2043	明治	4		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2044	明治	5		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2045	明治	6		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2046	明治	7		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2047	明治	8		敬親、山口を永く本藩の根拠地とする生論
2048	明治	9		敬親、山口を永く本

次世代に伝えたい、
つなぎたい

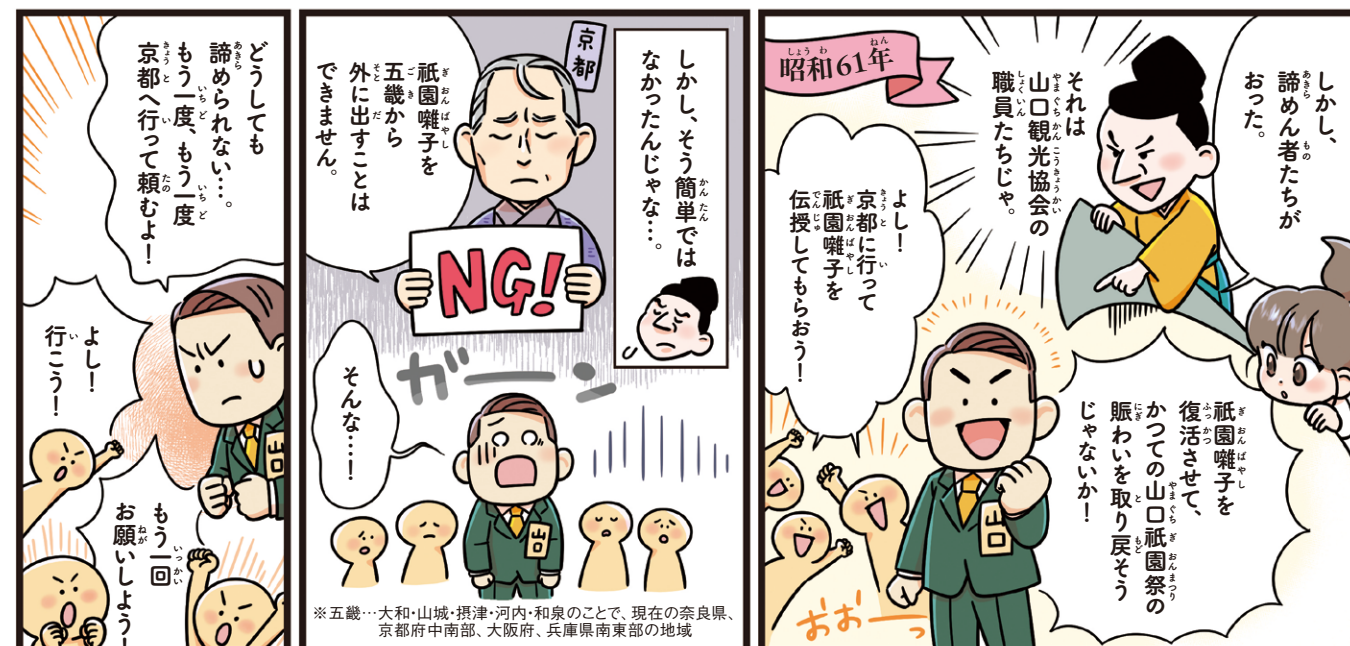
山口市の祭を知る。

大内氏の時代から脈々と続く祭りや、
山口市の活性化のために昭和以降に誕生した祭りなど、
山口市には次世代に伝えたい、つなぎたい祭りがいくつもあります。
彩都山口17号では、その中から山口市を代表する祭りをご紹介します。
誕生した理由やまつわるエピソードなど、
それぞれの祭りをおさらいしましょう！

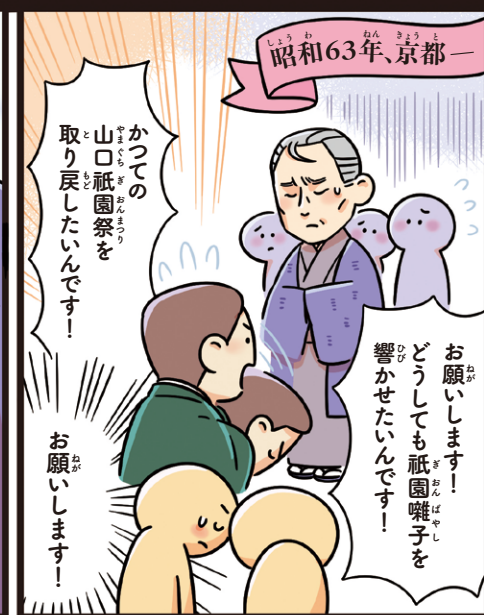
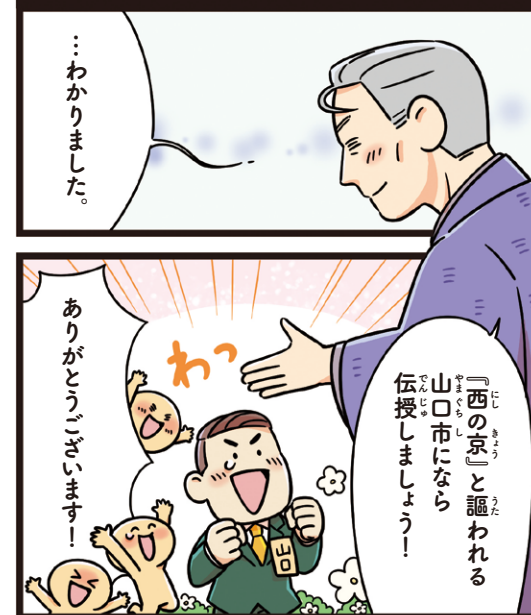




※この物語は史実をもとにしたフィクションです。



昭和62年、再度京都を訪れるものの、答えは「ノー」。



祭りDATA

【開催日】
毎年7月20日～27日

【開催場所】
八坂神社・
山口市中心商店街

【問合せ】
山口祇園祭振興会
☎083-920-0222



こちらも大内氏が京都から取り入れたものと推測されています。山口市の「鷺の舞」は、現存する中で唯一、室町時代から一度も途絶えることなく伝承されてきた貴重な伝統芸能で、山口県の無形民俗文化財に指定。島根県津和野町に伝わる「鷺舞い」は、山口から伝えられたものといわれています。

大内氏が京都の祇園祭を取り入れたのがその始まり。

「山口祇園祭」は約600年続く山口市の夏の風物詩で、毎年7月20日、27日に開催。室町時代、守護大名・大内弘世が山口で京都の都を模したまちづくりを進める中、応安2（1369）年に京都の祇園社を勧請し、のちに大内教弘が京都の祇園祭を取り入れた祭礼を行ったのが始まりと伝わります。初日の20日は八坂神社で「浦安の舞」、「鷺の舞」が奉納され、その後、祇園囃子や御神幸が御旅所まで約2キロを練り歩き、中日の24日は商店街で1,000人を超える市民により「山口祇園総踊り」（大内の殿様踊り）が行われます。そして最終日の27日は御旅所から八坂神社へと御還幸が行われ、約1週間続く祭りは閉幕。ちなみに、八坂神社で奉納される「鷺の舞」は、祇園神がサギを幸運の女神として愛したという故事に基づくといわれ、こ

山口 祇園祭

約600年前から続く伝統の祭り



まるで美しい光のトンネルのように見える無数のちようちん



祭りを盛り上げる提灯山笠

祭りDATA

【開催日】
毎年8月6日・7日

【開催場所】
山口市中心商店街・
パークロード

毎年8月6日・7日に山口市中心商店街とパークロードを中心に開催される祭りで、ルーツは大内氏の盆ちようちんにあります。期間中、数万個のちようちに火が灯る様子は圧巻で、「日本三大火祭」といわれることもあるほど。街頭のちようちん以外にも「提灯山笠」や「ちようちんツリ」などが登場するほか、ずらりと並ぶ屋台やステージイベントなど多彩な催しが行われ、山口市の夏の風物詩として市内の人々に愛されています。

このお祭りも大内氏との関わりがあるのね！大内氏ってほんとすごい！

「山口七夕まつり」は神事のないお祭り。すなわち、地域を盛り上げるためのお祭りじゃ。しかし、ルーツは大内氏にあるんじゃぞ。

山口七夕ちようちんまつり

History

つながる大殿七夕ちようちん

大内氏のお膝元ともいえる山口市大殿地域では、ゆかりの地らしく、築山神社・八坂神社で大内氏の御霊をなごめ、境内や堅小路を中心に大殿地域全体、商店街へとちようちんを灯そうという活動「つながる大殿七夕ちようちん」に取り組んでいます。毎年、8月6日には八坂神社で「火おこしの儀」を行い、「火入れサポーター」を務める小学生がちようちに火をつける作業をし、ちようちに火が灯ったあとは「子ども縁日」で地域を賑わせます。この活動は、地域における住民間のつながりや関係性を強めることも目的としています。地域の団結あってこそ祭りが開催でき、祭りがあってこそ地域が賑わう…。お祭りを続ける意義は地域の存続に実は大きく関わっているのです。



ちようちんの火入れの様子

大内氏の先祖への想いが込められた祭りだったのね…。今年から違う視点で楽しめそう！



自粛期間を経て、戻ってきたちようちんまつり
(提供:山口市歴史民俗資料館)

となり、5・6日には短冊が、7日の夜にちようちんが灯されるようになります。2日間開催になったのは昭和54年からで、これと同時に名称も現在のものになりました。

きっかけは第26代盛見大内氏から庶民へと拡散

わしの息子・盛見が始めたお祭りじゃ。親孝行じゃのう。

「山口七夕ちようちんまつり」が始まったのは室町時代、今から約600年も前のことです。第26代大内盛見が、お盆の夜に父・弘世をはじめとする先祖の冥福を祈るため、笹竹の高灯籠に火を灯したのが始まりで、庶民の間に広まっていったと伝えられています。ちなみに、七夕まつりとして定着したのは明治に入ってからでした。長い歴史を持つこの祭りですが、戦時中は開催を自粛しており、終戦後の昭和25年8月7日に復活。昭和35年から8月5日・7日の3日間での開催

室町時代から650年以上続く祭り



神役や宝恵龍、長持ちなど約300名で構成された華やかな大行列



行列の中心となる御祭神を載せた御網代車

祭りDATA

【開催日】
毎年11月17日～25日

※メインは23日の御神幸祭
【開催場所】
古熊神社・山口市中心商店街・山口駅通り

毎年11月17日～25日に行われる、古熊神社の御神幸祭および例祭、また、それに付随するさまざまな祭典の総称で、晩秋の山口市を彩る祭りとして地域に愛されています。特に有名なのは、11月23日に行われる御神幸祭で、御網代車を中心に約300名が列をなし、山口市の中心商店街をゆつくりと進みます。まるで時代絵巻さながらの華やかな大行列は圧巻で、その様子を見学するために、山口市内はもちろん、市外・県外より多くの人が足を運びます。

普段はお宮の外に出ることのできない神さまが、年に一度だけお神輿や御所車に乗られ、まちの様子を見て回られる神事なんじゃ。「神さまの旅」

御神幸祭にはどんな意味があるの？

といったところじゃな。

古熊神社、もう一つのお話 菅原道真×福部童子

菅原道真の23番目の子・菅原福部童子は、太宰府(九州)に左遷された父を追って京を出立。しかし、山口の地で夏の疫病に罹り身動きが取れなくなってしまいました。そんな福部童子のために道真が贈ったのが1つの掛け軸。なんと簾の節で道真の姿が浮かぶ細工が施されていたのです。福部童子はとても喜び、「山口の子どもたちが私と同じような病気に罹らないよう、お祈りをして亡くなります」という言葉を残し、その短い生涯を終えました。古熊神社では福部童子を配祀神とし、掛け軸は「御簾天神」として大切に保管しています。また、毎年命日の8月26日には「福部童子祭」が行われています。



福部童子祭の様子

ルーツは大内氏！脈々と続く伝統の祭り

わしが京都から天神さまを勧請して以来、ずっと続いてきたお祭りじゃ！

カウトの子どもたちにより行列が組まれました。復活のきっかけは当時の古熊神社の宮司の一言でした。大正生まれのその宮司が、「もう一回迫る力ある大人の行列が見たい」と会合の席でふとこぼした言葉に、古熊神社がある山口市大殿地区のPTAが立ち上がったのです。最初は10名、ところが次々に手が挙がり、現在は40名近くの大人たちが参加するように。山口天神祭はまちの人々によって支えられています。

山口天神祭は、市民が楽しむイベントではなく、神さまをおもてなしするためのお祭り。神さまに日頃の感謝を表すため、小規模にしていでも続けてきたのね。



旧サビエル記念聖堂シンボルモニュメント



日本のクリスマスは山口から点灯式の様子

図 日本のクリスマスは山口から実行委員会
(083-925-2300 山口商工会議所)

室町時代、第3代大内義隆がスペインからやってきた宣教師フランシスコ・サビエルに日本で最初に布教の許可を与え、拠点として廃寺になっていた大徳寺を与えました。サビエル亡き後、大徳寺は宣教師トルレスにより建て直されると、日本で最初のキリスト教教会に。そこで日本で最初のクリスマス（降誕祭のミサ）も行われました。このことから、山口市では毎年「12月、山口市はクリスマス市になる」を合言葉に、市内各所でクリスマスにちなんだイベントが開催されています。ちなみに、例年「日本のクリスマスは山口から点灯式」が開催され、当日はフィンランドから本物のサンタクロースが来場し、子ども向けにお菓子まきなどが行われます。

12月、山口市はクリスマス市になる。



市内の菓子店や飲食店では積極的にチョコレートメニューを開発



市内で開催されたチョコレート物産展の様子
地元パティスリーをはじめとする27店舗が参加

問 チョコフロール山口
(083-925-2300 山口商工会議所チョコレート事業)

平成30（2018）年、総務省が実施する調査によると、山口市のチョコレートへの家計支出が、2位の名古屋市に4倍近くの差を付けてダントツの1位に！この結果を受け、山口市では令和2（2020）年より、チョコレートで山口市を盛り上げるプロジェクト「チョコフロールやまぐち」に取り組んでいます。令和3（2022）年は「11月、山口市民は大切な人にチョコで想いを伝える」を、令和6（2024）年は「もう1品。貰うなら、チョコで」をテーマとし、新しい文化の醸成につなげよう」とさまざまなイベントを開催しています。

チョコフロールやまぐち！！



白い衣装やキツネの面を身につけた子どもたちが練り歩く「白狐の松明行列」



年によっては地域の花婿・花嫁を迎え「白狐の嫁入り松明行列」に

湯田温泉 白狐まつり

毎年4月の第1土・日曜に開催される、温泉の湧出に感謝するための祭り。一番の目玉は土曜の夜に行われる「白狐の松明行列」で、子ぎつねに扮した約100人の子どもたちが松明を掲げて湯田温泉のメインストリート「湯の街街道」（県道204号線）を練り歩き、あたり一帯は幻想的な雰囲気になります。日曜は白狐パレードや総踊り、井上公園でのステージイベントなど内容盛りだくさん。来年から「湯田温泉こんこんパーク」も会場の一つになる予定です。

祭りDATA

【開催日】
毎年4月 第1土・日曜

【開催場所】
県道204号・湯田温泉街周辺
(井上公園、湯田温泉自動車学校など)

だから白ギツネに扮した
松明行列なんじゃな！

湯田温泉は白ギツネが
傷を癒していたことから
発見されたと伝わるのね。



History

神事であり、イベントでもある祭り

湯田温泉街の真ん中あたりには、かつて湯田温泉神社が鎮座していましたが、高田公園（現・井上公園）を経て、現在は山口市朝倉町にある朝倉八幡宮の隣に。祭りの開催前には必ず神事が執り行われています。また、開催中は井上公園に湯田温泉神社御旅所が設けられ、多くの人が参拝します。つまり「湯田温泉白狐まつり」は地域を盛り上げるための祭りではなく、山口天神祭と同じく、神さまに感謝を表す祭りでもあるのです。近年では松明を持つ子どもたちも、神輿を担ぐ大人たちもなかなか集まらず、大きな課題になっているのとか。祭りは地域が元気だからこそできる行事。湯田地域もまた、祭りが存続できるよう、地域の活性化に尽力しています。



昭和35年当時の祭りの様子
(提供：山口市歴史民俗資料館)

「湯田温泉白狐まつり」は、昭和24年、戦後の疲弊していた山口の人たちを元気づけるため、湯田の芸妓たちが踊りを披露したことがきっかけで始まりました。翌年には高田公園（現・井上公園）を会場として本格的に開催され、昭和35年には「白狐パレード」も開始。現在

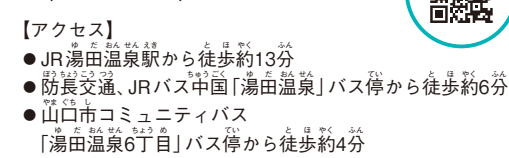
戦後の復興を願って 昭和24年に始まった

は湧き出る温泉に感謝する祭りとなっています。ちなみに祭りの目玉「白狐の松明行列」は昭和60年に誕生し、初めて「白狐の嫁入り松明行列」が行われたのは平成22年のこと。平成22年は、江戸時代、富士山の大噴火に伴う大地震によって枯渇してしまった湯田温泉が再び湧出するようになってから300年記念祭として特別仕様で開催され、名称もこの年に「湯田温泉まつり」から「湯田温泉白狐まつり」に改称されました。

戦後、
人々を元気づける
ために始まった
祭りのね！



自分の時間を過ごした
り、イベントなどで市民
同士や観光客との交
流を図る豊かな時間を
楽しむ場。



NEWS 03

湯田温泉に「こんこんパーク」がオープンします!

※詳細は22・23ページにて

令和7(2025)年6月に、「湯田温泉こんこんパーク」がオープン! にぎわいや交流を創出する新たな拠点として湯田温泉の地に仲間入りをします。活用コンセプトは、「あそびば」「まなびば」「たまりば」の3つ。湯田温泉ならではの温浴施設や足湯を完備するのはもちろん、大屋根が広がる全天候型の広場「こんこん広場」やインクルーシブ遊具を設置したスペースなど、いろんな世代がいろんな楽しみ方をできるさ

まざまな設備を有しています。湯田温泉は、市街地にあるいわば「まちなか温泉」です。市民の暮らしのそばにあるというその特色を活かし、今後ますます湯田温泉に対する愛着を育む拠点、山口市民と観光客の交流を創出する観光地域づくりの拠点を目指します。

湯田温泉こんこんパーク

☎ 083-922-8009

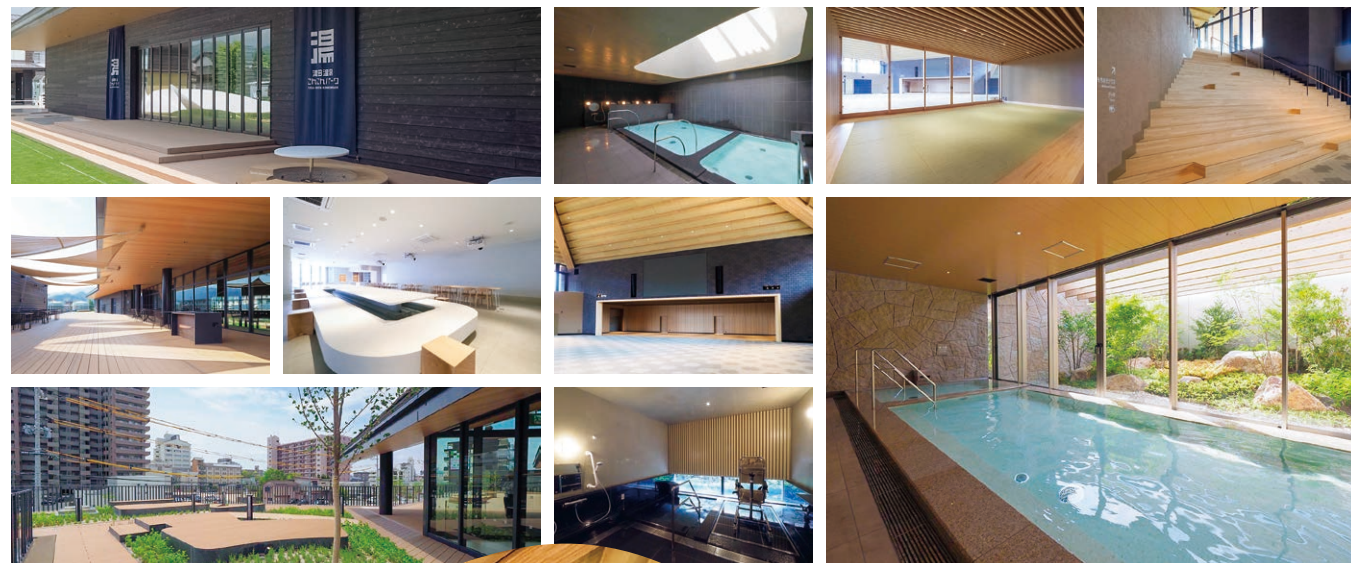
📍 山口市湯田温泉5-2-15

🕒 全館6:00~22:00、

温浴施設6:00~20:00(最終受付19:30)、芝生広場・噴水広場常時開放

📅 第1・3火曜、年末年始(12月29日~1月3日)

https://konkon-park.com



Sight
Yamaguchi
Vol.
17
2025

YAMAGUCHI CITY

TIMES

2025 — 2026

山口市の
「旬」を
お届け!

NEWS 01

山口市役所の新本庁舎棟が開庁! まちづくりや防災の拠点に。

令和7(2025)年5月、山口市の新本庁舎棟が開庁し、業務がスタートします。

新庁舎建設の目的は、老朽化や耐震性、バリアフリー化、情報化対策など、旧庁舎が抱えていたさまざまな課題を解決するため。平成27(2015)年に建て替え方針を表明後、計画期間を経て、令和5(2023)年3月に着工し、より利用しやすい、快適な庁舎の完成となります。分散していたさまざまな機能が集約されることで、これまでよりさらに便利になりますので、ぜひご期待ください。

新本庁舎棟のポイントは大きく3つ。1つ目は「ひとにやさしい」、2つ目は「まちにやさしい」、3つ目は「未来にやさしい」です。



01.ひとにやさしい

1階中央に総合案内を設け、1階・2階に市民利用の多い窓口を集約。「書かない」「待たない」窓口サービスを目指します。また、庁舎内は段差のない動線や点字サイン、音声案内など誰もがわかりやすい、使いやすい庁舎として整備を行っています。

02.まちにやさしい

内装材には市内産木材や徳地の滑松、大内塗のモール、徳地和紙などの地域資源を活用しています。また、周辺の自然環境を生かした庁舎になるよう、二期工事では植樹、芝生などの緑地化を施し、周辺環境との共生・調和を図ります。

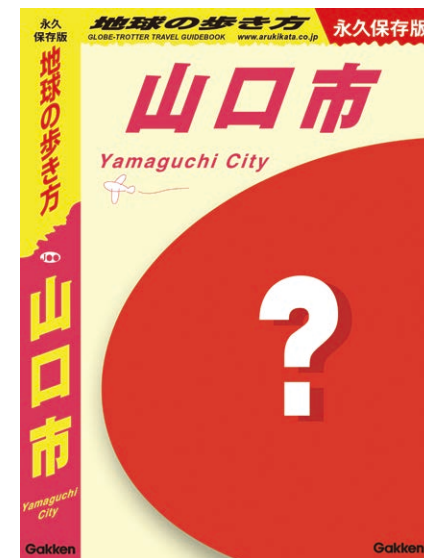
03.未来にやさしい

環境やコストに考慮しつつ、維持管理や更新がしやすい材料や仕上げを採用し、100年先まで長く使い続けられる庁舎にしました。また、空調や窓の構造などを工夫することで、省エネルギー化も実現しています。

二期工事として、旧庁舎の解体と、市民交流棟・新立体駐車場・広場の整備を行い、令和10(2028)年に全体の完成を予定しています。

NEWS 02

「地球の歩き方 山口市」が 令和7(2025)年10月に発刊!



令和7(2025)年10月、「地球の歩き方 山口市」が発刊されます。「地球の歩き方」は1979年に創刊し、海外旅行のバイブルとして人気を集め、世界約160の国と地域で約120タイトルを発刊。近年では国内版が人気を博し、累計100万部を超える大ヒットシリーズになっています。「地球の歩き方 山口市」は、市版としては北九州市、横浜市に続く全国で3番目の発刊、中国地方では初の市版に。制作にあたり、表紙

を飾るイラストやおすすめスポット&グルメ、ご当地あるあるネタなどについて、山口市民をはじめ、山口市に縁のある方や山口市が気になっている読者など「山口市

LOVER」の皆さんからも生の声を募りました。基本情報からディープな情報まで、山口市の魅力をまるっと詰め込んだ「地球の歩き方 山口市」を読めば、もっと山口市が好きになるかも!

【概要】

書名: 「地球の歩き方 山口市」永久保存版

著作編集: 地球の歩き方編集部

価格: 2,200円(税込) ※予定

発売予定日: 2025年10月予定

(全国書店およびオンライン書店にて発売予定)

発行所: 株式会社地球の歩き方

販売元: 株式会社Gakken

【お問い合わせ先】

山口市総合政策部企画経営課 総務担当

☎ 083-934-2746



◀「地球の歩き方 山口市」制作発表の様子

2025シーズン 選手名鑑

2025
スローガン

全力
前×陣×善

GK(ゴールキーパー) MF(ミッドフィルダー) DF(ディフェンダー) FW(フォワード)

PLAYER DIRECTORY 2025

※2025年4月30日時点の登録選手

1 GK ニック マルスマン	21 GK チェ ヒョンチャン	22 GK 糸原 紘史郎	26 GK 田口 潤人	4 DF 松田 佳大
5 DF 喜岡 佳太	6 DF キム ボムヨン	14 DF 下堂 竜聖	15 DF 板倉 洸	18 DF 亀川 諒史
49 DF 峰田 祐哉	55 DF 岡庭 愁人	76 DF 磯谷 駿	7 MF 三沢 直人	10 MF 池上 丈二
11 MF 横山 壘	17 MF 田邊 光平	27 MF 小澤 亮太	28 MF 小林 成豪	30 MF 奥山 洋平
33 MF 木村 有磨	40 MF 成岡 輝瑠	8 FW 野寄 和哉	9 FW 有田 稜	13 FW 宮吉 拓実
19 FW 山本 駿亮	20 FW 河野 孝汰	34 FW 古川 大悟	38 FW 末永 透瑛	45 FW 山本 桜大
94 FW シルビオ ジュニオール	監督 志垣 良			

【ご当地シャレン選手】 レノファ山口FCの選手が担当制で県・市町ごとのPRや応援などの社会連携(シャレン)活動を行います。

スタジアム(ホームゲーム会場) 維新みらいふスタジアムのご案内

JR 山口線で	【新山口駅】→ JR山口線 約13分・210円 → 【大蔵駅】→ 徒歩 約11分・約12分 → 【維新公園】
バスで	【新山口駅】→ 防長バス/約20分・470円 → 【維新公園】 【湯田温泉】→ 防長バス/約5分・200円 → 【維新公園】
タクシーで	【新山口駅】→ 約20分・3,000円程度 → 【維新公園】 【湯田温泉】→ 約6分・1,000円程度 → 【維新公園】
車で	【湯田温泉スマートICから】→ 約4km → 【維新公園】 【中国自動車道小郡ICから】→ 約4km → 【維新公園】 【中国自動車道山口ICから】→ 約12km → 【維新公園】 【新山口駅から】→ 約9km → 【維新公園】

❗ 駐車場には限りがあります。できるだけ、公共の交通機関をご利用ください。



山口市は、 レノファ山口FCの ホームタウン!

山口市では、スポーツを通じたまちづくりを進めています。
本市をホームタウンとする山口県初のプロサッカークラブ
「レノファ山口FC」を応援してください。

レノファ



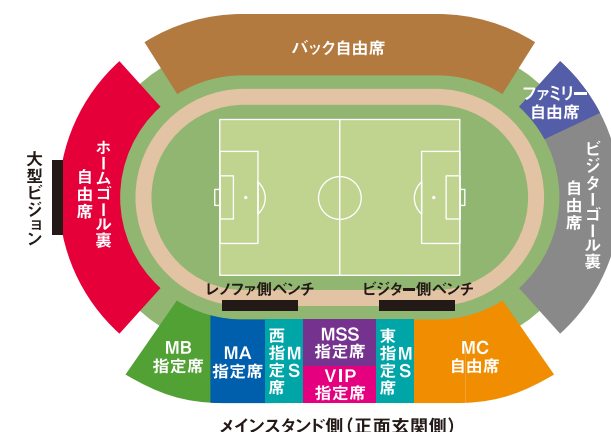
2025明治安田J2リーグ試合日程表

山口市でのホームゲーム(維新みらいふスタジアム開催日)

節	開催日	KICK OFF	対戦相手
第3節	3月 2日(日)	14:00	北海道コンサドーレ札幌
第5節	3月16日(日)	14:00	大分トリニータ
第6節	3月23日(日)	13:15	ロアッソ熊本
第8節	4月 5日(土)	14:00	愛媛FC
第11節	4月26日(土)	14:00	FC今治
第14節	5月 6日(火・休)	14:00	水戸ホーリーホック
第17節	5月25日(日)	14:00	藤枝MYFC
第19節	6月15日(日)	14:00	いわきFC
第21節	6月28日(土)	19:00	ブラウブリッツ秋田
第23節	7月12日(土)	19:00	徳島ヴォルティス
第25節	8月11日(月・祝)	19:00	ヴァンフォーレ甲府
第26節	8月16日(土)	19:00	ベガルタ仙台
第29節	9月14日(日)	未定	ジェフユナイテッド千葉
第32節	10月 5日(土)	未定	サガン鳥栖
第34節	10月26日(日)	未定	カターレ富山
第36節	11月 9日(日)	未定	ジュビロ磐田
第38節	11月29日(土)	未定	RB大宮アルディージャ

※2025年3月1日現在、山口市で開催が決定している試合のみ掲載。
最新情報は、レノファ山口FCのホームページでご確認ください。

維新みらいふスタジアム



メインスタンド側(正面玄関側)

価格表(円・税込)

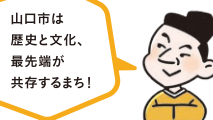
座席種別	前売	当日
VIP席(指定)	一般 9,500	10,000
MSS席(指定)	一般 6,000	6,500
MS席 西・東(指定)	一般 5,000	5,500
MA席(指定)	一般 4,500	5,000
MB席(指定)	一般 3,500	4,000
MC席(自由)	一般 3,300	3,800
バック席(自由)	一般 3,000	3,500
ホームゴール裏席(自由)	一般 2,000	2,500
	学生 1,000	1,500

※2025シーズンは、対戦相手や時期など集客可能性に応じてホームゲーム
チケット価格が変動するフレックスプライス制度を導入しています(全3パターン)。
※上記価格は★のパターンです。詳細は公式HPをご覧ください。





彩都山口
URL <https://sight-yamaguchi.jp>



このハガキで「彩都山口」プレゼントクイズにご応募いただけます。

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、右上のクイズの答え、アンケートの回答をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で10名様に「山口市の特産品の詰め合わせ」をプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズの答え

「彩都山口」の感想をお寄せください。

皆様のご意見を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

Q1 「彩都山口」をどこで入手されましたか？

1. 郵送で 2. 市役所や公民館等の公共施設で 3. 駅や観光案内所で
4. 道の駅や特産品販売所などで 5. ホテルや旅館等の宿泊施設で
6. 美容院や飲食店などのお店で 7. その他【具体的に：】

Q2 どの記事が面白かったですか？

1. 特集1「おさらい山口」(P1～13)
2. 特集2「山口市の祭を知る」(P14～21)
3. 特集3「湯田温泉は今からどどんにぎわうエリア！」(P22・23)
4. YAMAGUCHI CITY TIMES(P24・25)
5. その他【具体的に：】

Q3 山口市のどんなところに興味がありますか？

1. 歴史 2. 自然 3. 芸術・文化 4. 温泉 5. グルメ
6. その他【具体的に：】

Q4 山口市の中でどこか訪ねてみたい所がありますか？

訪ねてみたい理由があれば、それも教えてください。

場所【

理由【

Q5 今後、どんなテーマの記事を読んでみたいですか？

プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10名様に、「山口市の特産品の詰め合わせ」をプレゼントします！ふるってご応募ください。

Present
Quiz

Q 宣教師フランシスコ・サビエルに
布教を許可したのは誰？

- ① 大内弘世 ② 大内義隆 ③ 毛利敬親

【応募方法】

郵送 ▶ 左の応募ハガキを切り離し、必要事項をご記入の上、85円切手を貼り付けてお送りください。

二次元コード ▶ スマートフォンで右の二次元コードを読み込み、専用フォームに必要事項をご記入ください。



【応募締切】 第1次／2025年9月30日(火)
第2次／2026年1月31日(土)

※当日消印有効

【個人情報利用の目的】 ご応募いただいた際の個人情報は、誌面づくりの参考と
プレゼント賞品の発送のみに使用いたします。

山口市LINE公式アカウントあります！

【アカウント名】 山口市
【LINE ID】 @yamaguchi-city

右の二次元コードを読み取るか、LINEのホーム画面から「山口市」を検索して友だち登録をしてください。



山口市への「ふるさと納税」のお申し込みも、
Web上で簡単に手続きできます！

山口市がもっと好きになる情報サイト
<https://sight-yamaguchi.jp/>



彩都山口 Sight Yamaguchi 2025 Vol. 17

発行

2025年3月
山口市総合政策部企画経営課
〒753-8650 山口市亀山町2-1
TEL.083-934-2746
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

取材協力(順不同)

大内文化街道まちなみ協議会
おおどのコミュニティ協議会
工房アリイ
クレイグ・モド
クリエイティブ・スペース赤れんが
古熊神社
中原中也記念館
(一財)山口観光コンベンション協会
山口県埋蔵文化財センター
山口県立山口図書館
山口県立山口博物館
山口県立美術館
山口県文書館
山口市歴史民俗資料館
山口商工会議所
山口情報芸術センター(YCAM)
八坂神社
湯田温泉こんこんパーク
湯田温泉旅館協同組合
レノファ山口FC

制作

統括 株式会社コア
企画・編集 藤井香織
デザイン 桑原 朗(クワハラデザイン)
マンガ・イラスト やまでらわかな
撮影 津田大作(OFFICE BEE)
取材・執筆 藤井香織

参考文献

- 「山口県百科事典」(大和書房)
- 「山口県の昭和史 明治・大正・昭和100年の記録」(毎日新聞社)
- 「山口郷土読本」(山口市教育委員会)
- 「ふるさとの思い出 写真集 明治 大正 昭和 山口」(図書刊行会)
- 「大蔵界隈今昔物語」(大内文化街道まちなみ協議会)
- 「やまぐち本」(山口商工会議所やまぐち歴史・文化・自然検定実行委員会)
- 「長州藩 成立から討幕まで」(三栄書房)
- 「オールカラーでわかりやすい! 幕末・明治維新」(西東社)
- 「山口県のまつり」(山口県ふるさとづくり県民会議)
- 「山口市史」(山口市)
- 「目で見える山口・防府の100年」(郷土出版社)
- 「山口の伝説」(角川書店)
- 「県庁と県都山口」(防長自由政策研究会)
- 「山口県の百年」(山川出版社)
- 「彩都山口」(山口市)

◎本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
※本誌掲載の情報は2025年3月31日現在のものです。予告なく変更になる場合もありますのでご了承ください。

「ふるさと納税」で山口市を応援してください！

令和5年度の寄附額

5億795万8,888円(2万1,522件)

全国各地の方から多くのご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

みなさまからお寄せいただいた貴重な寄附金は、以下の6つの中から寄附をされた方が選ばれた使い道に活用しています。

令和5年度ふるさとやまぐち寄附金の使い道

1 文化・観光・スポーツ資源を活かした「元気な県都づくり」

3,463件 8,937万8,662円



文化・芸術・スポーツなど本市の地域資源を活用し、市民の豊かな感性や創造性を育む事業に役立てました。

◀第1回 やまぐち伝統芸能フェス in 菜香亭

2 産業活力・雇用を創出する「若者活躍と雇用創出の環境づくり」

1,436件 2,999万694円



企業誘致の強化、起業創業支援、中小企業への経営改善や事業承継支援など、地場産業の振興をはじめとした地域雇用創出の強化等に活用しました。

◀やまぐち未来のしごとフェスタの様子

3 安心の子育て環境を整える「子ども・子育て全力応援のまちづくり」

6,673件 1億5,303万9,401円



未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育て・教育環境の整備等に活用しました。

◀開設した山口市子ども家庭センター

4 デジタル化や脱炭素の推進による「持続可能な未来都市づくり」

895件 1,522万2,000円

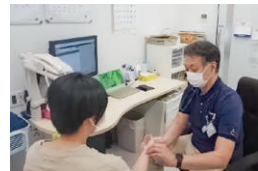


新しい時代の流れへ対応し将来にわたって発展を続けるまちづくりのため、デジタル化や脱炭素の推進に活用しました。

◀市内全ての路線バスで利用可能なICカード決済の様子

5 生涯にわたって元気に暮らせる「人生100年時代の元気活躍のまちづくり」

1,185件 2,754万8,000円



生涯にわたり元気でいきいきと暮らすことができるよう、高齢社会に対応した福祉サービスの充実や地域における高齢者の支え合い体制の整備等に活用しました。

◀山口徳地診療所

6 まちづくり全体への支援

7,870件 1億9,278万131円



1～5のまちづくりの他、山口市に「住んでみたい、住み続けたい」と思っていたけるような事業に活用しました。

◀コロガルあそびのひゃっかてん2024

「ふるさとやまぐち寄附金」にご協力いただいた方には、お礼の品をお送りしています。

山口市自慢の農林水産品、銘菓、工芸品など500点以上の中から好きなものをお選びいただけます。

湯田温泉の泉源からくみ上げた100%のビューミストもあります！



阿知須牛



あいおえび



日本酒「山頭火」



湯田温泉

お礼の品や申込方法など「ふるさとやまぐち寄附金」について、詳しくは「彩都山口」のホームページでご覧いただけます。

<https://sight-yamaguchi.jp/furusatonoei/>

ふるさとやまぐち寄附金



お問い合わせ先

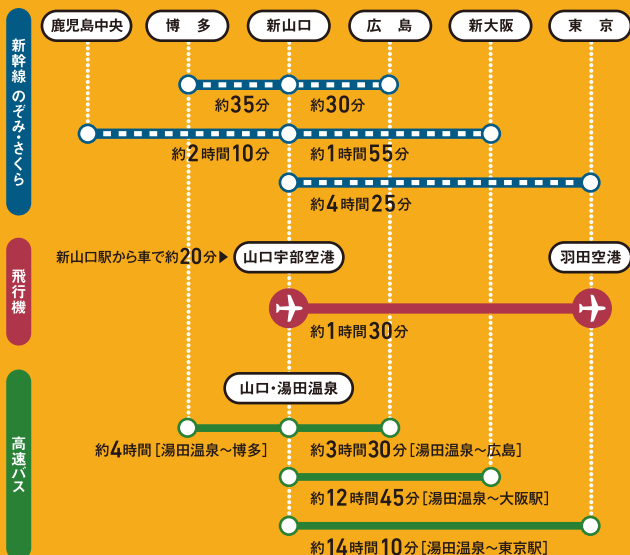
山口市商工振興部ふるさと産業振興課
☎083-934-2941 fax 083-934-2650
E-mail info@sight-yamaguchi.jp

Yamaguchi City



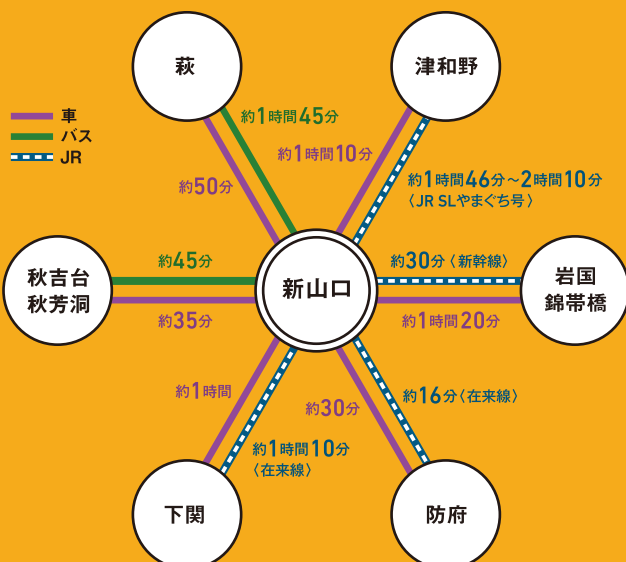
Access

県外からのアクセス



※2023年3月現在の情報です。所要時間は目安です。

近隣観光地へのアクセス



POST CARD

切手を貼って
ご投函ください

7 5 3 8 6 5 0

山口市亀山町2-1

総合政策部 企画経営課

「彩都山口 Vol.17」プレゼント係 行



必要事項をご記入ください

ふりがな		年齢	歳
お名前 [必須]		性別	男・女
ご住所 [必須]			
TEL [必須]	-	FAX	-
ご職業			

【応募締切】 第1次／2025年9月30日(火) 第2次／2026年1月31日(土) 当日消印有効